

大和地域審議会

平成19年度

第1回会議録

開催日時	平成20年2月14日(木) 10:00~11:40	
開催場所	大和庁舎2階 大会議室	
会議内容	次 第	会議結果
	1 開 会 2 副市長あいさつ 3 委嘱状交付 4 委員の紹介 5 会長、副会長の選出 6 会長、副会長あいさつ 7 協 議 (1) 地域審議会の概要説明 (2) 新市建設計画・総合計画の概略説明 (3) 合併協定項目の進捗状況 (4) 答申の進捗状況 (5) 委員からの質疑応答 (6) その他 8 閉 会	会 長 松藤義生 副会長 横山美代子

大和地域審議会委員出欠名簿 (15人中12人出席)

出席者：稲又 暁子、江崎 三子生、河野 宇充、成清 和加野、小柳 哲朗、高山 和夫、横山 美代子、松藤 宏和、石川 貢、白谷 日津留、久富 利幸、蒲池 一彦

欠席者：松藤 義生、藤野 満夫、半田 眞弓

会議録の確定		
確定年月日	平成 20 年 2 月 29 日	
署 名	議長	横山美代子 (横山)

午前10時00分 開会

○事務局

皆さんこんにちは。何人かお見えでない方もいらっしゃると思いますが、定刻となりましたので、大和地域審議会を始めさせていただきます。本日は、大変お忙しい中に御出席いただきましてありがとうございます。この地域審議会は委員の任期が2年となっていますので、今回から新しい委員さんで再度スタートすることになっています。そういうことで、会長、副会長の選出まで私の方で進行をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

まず、最初に大泉副市長よりご挨拶申し上げます。

○大泉副市長

皆さんこんにちは。今日はわざわざお忙しいところにお越しいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より市政発展のため理解と協力いただき、この場を借りてお礼申し上げたいと思います。新市が合併してからまもなく3年が経とうとしておりますけれど、新しいルールで市政を運営しておりますけれども、まだまだしっかりしない部分があると思っています。また、ここはこんなふうに改めたが良いとかこんな工夫をしたら良いのではという考えをお持ちの方もいらっしゃるかと思います。皆さんご承知のとおり、本市では行財政改革を実行しておりますして、市民サービスの向上はもちろんですが、今後のことを考えますと税収の減少ですとか少子高齢化がますます進むと考えられまして、今のやり方がこのままずっと何年も続けられるというものではないんじゃないか。ということも事実だと思います。今後様々な形で続けなければならないと思っていますけれども、今日の地域審議会も他の行政区長さんの会だとか市長への投書、団体からの要望といったような色々な場がありますが、そういったものと異なりまして比較的広域・広範な立場からご意見いただきたいというふうに思っております。ご提案いただいた意見については、さらに上位の各種委員会に諮りまして、検討を深めていきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。

○事務局

続きまして、委嘱状の交付でございますが、全員に交付しますと時間がかかりますので、お一人の方に代表で交付しまして、他の方にはあらかじめ机の上に差し上げていますので、ご了承願いたいと思います。それでは石川貢さん、お願いします。

(委嘱状交付)

先ほど申し上げましたように審議会の委員さんが交代をされていますので、委員の皆様のご紹介をしたいと思います。

(委員紹介)

続きまして、会長・副会長の選出ですが、委員の互選によることとなっていますので、自薦・他薦、結構ですがどなたかございませんでしょうか。

(「執行部一任でお願いします。」との声あり)

執行部一任という提案をいただきましたけれども、事務局の方から提案し、ご承認いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。(「はい」の声あり。)

これまでの地域審議会の会長が行政区長と副会長が婦人会からということでお願

いしていました。その関係で本日ご欠席なのですが、行政区長代表の松藤さんに会長を、婦人会が大和地区にはございませんので、新たに入ってくださいました農協の女性部支部長の横山さんに副会長をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(承認の拍手あり)

それでは、会長の松藤さんがご欠席ですので、副会長の横山さん進行をお願いします。

○横山副会長

私初めて来ましたので、もっと先輩の方がいらっしゃいますので、稲又さんいかがでしょう。

○小柳委員

もう事務局が選任されてあるので、よろしくお願いします。

○事務局

本日は委員さんが交替されて、事務局説明が主なものですので、よろしくお願いします。

○横山副会長

今聞きまして、戸惑っておりますが、会長がいらっしゃいませんし、不慣れですがよろしくお願いします。7番の協議に入りたいと思います。まず(1)地域審議会の概要について説明をお願いします。

(事務局説明)

それでは、ただいま説明がありました地域審議会の概要についてご質問なりご意見がありましたらお願いします。

○白谷委員

任期なのですが、PTA連合会は1年で代わり、私の任期も一月ぐらいなのですが、そういう場合は次年度の方に引き継ぎすればよろしいのでしょうか。

○事務局

委員の方は宛て職ということでさせていただいていますので、先ほどの資料の3ページに委員の任期に記載していますが、役職が代わられるということであれば、次の方をお願いするということになります。

○蒲池委員

3ページの招集及び議事ですが、半数の委員が出席しなければならないということで委任状の取り扱いは考えてありますか。

○事務局

委任状は考えておりません。出席いただいた方の過半数ということです。

○蒲池委員

他の委員会なども同じ取り扱いでしょうか。

○事務局

そうです。

○横山副会長

他にございますでしょうか。質問等ございませんので2番に入りたいと思います。新市建設計画・総合計画の概略説明をお願いします。

(事務局説明)

ただいまの説明について、ご質問等ありましたらお願いします。

○蒲池委員

説明があったものは全て出来上がったものなので、これといったものはないと思うんですが、この中に1市2町でこうやっていてこういう問題があるとか提案があれば、意見が出ると思います。そちらとしてはどういう意見を聞きたいのでしょうか。

○事務局

意見ということではなく、今日は新しい委員さんもいらっしゃるので、新市建設計画なり総合計画なりで市政を進めていますということを説明したわけです。それに対して、どうこうという問題ではなく、分からない点などあれば聞いて欲しいということです。

○横山副会長

それでは3番に進んでよろしいでしょうか。合併協定項目の進捗状況について説明をお願いします。

(事務局説明)

ただいまの説明について、何かありますでしょうか。(「なし」の声あり)なければ、4番の答申の進捗状況について説明をお願いします。

(事務局説明)

ただいまの説明について、ご意見等ありましたらお願いします。

○稲又委員

ただ今交通手段の確保という所で説明がございましたが、19年度の対応状況の所に19年3月まで運行しましたとしてありますが、なぜ昨年4月に問題にしたときに説明がなかったのか。昨年4月10日に審議会があります。その時もいいましたけど、福祉バスを運行しました、大和町にべにばな号が来ているということは知らなかった。どうしてそれが利用できるのか。大和庁舎と三橋庁舎、本庁があって大和町民はどういう手段で出ていくと良いのでしょうか。車を持っている人は良いでしょう。車がない人とか高齢者で独り暮らしの方たちが何かあったとき、100円バスは柳川地区の人たちだけが利用している。100円バスですよ。100円バスといっても皆さん今少しずつ知りつつあるんです。ここから行くのに自転車に乗れなかったら歩いて行かなければならない。そういうことを行政はどういうふうと考えてあるのか。ここに庁舎がないなら分かります。教育問題になると三橋庁舎に行かなければならない。福祉関係は本庁に行かなければならない。私も民生委員を仰せつかっておりますが、そういう不平不満が行く所で出てきます。「柳川地区に住んどって良かの、100円バスでどこまでん行かる、病院さん行っても200円で行かる」水の郷もちろん、病院、リハビリテーション、まだたくさんある。柳川地区の人は200円なんです。大和地区はどこにそういうものがありますか。さっきから公平にとおっしゃっていますが、私は公平とはちっとも思いません。私が言っていることは、間違っているのでしょうか。皆さんで一軒、一軒歩いてみてください、どういうご意見をお持ちか。合併したら同じ市民なんです。何か大和地区は取り残された感じがします。福祉巡回バスは、そのゴミ焼却場の手前まで来ていますね。あそこの施設にバス停があります。そこまで

来ているのに何故橋を渡って来れないのか。どういうふうな考えなのでしょう。

○事務局

福祉バス問題については、確かに稲又委員のおっしゃるように柳川と大和・三橋の状況が同じではないということは事実でございます、それ以外にも合併して異なっている部分もかなりあります。福祉バスについては、旧柳川の時に福祉巡回バスの運行をしてきたということで、そのまま新市になっても旧柳川地区では走っているということでございます。ただし、大和庁舎や三橋庁舎に行くようなものではない。それから三橋、大和の場合は、福祉バスという総合保健福祉センターの送迎バスが運行されていまして、先ほど説明したのは、その福祉バスを今までは各地区を回って福祉センターまでだったものを、さらに水の郷まで運行するという形で半年間、試行したということです。水の郷には福祉巡回バスが来ていますので、そこからどこでも行けるということで試行してみたということです。大和と三橋の福祉バスは無料で乗れるということで柳川の場合、100円になっています。柳川の福祉巡回バスが2台運行していますけれど、年間約700万円ほどかかっています。大和の福祉バスは、約330万円程度かかっています。三橋の場合にも約200万円かかっているということで、大和・三橋の2台で約540万程度経費がかかっています。これは無料ということでお金を取っていませんが、そういった状況で同じ柳川と大和、三橋が同じような形態で福祉バスを巡回するのかどうか検討している所ですが、乗られる方が実際どれ位あるのか、経費の問題、現在無料で走らせている福祉バスをどうするのか、それを廃止して有料にして良いのかという問題もありますし、なかなか現在が違う形態での運行になっていますので、同じ形に統一するのは難しい所があります。福祉バスを水の郷まで試行的に運行したと申し上げましたが、全く利用がなかった。理由を聞きますと大和の福祉センターの入浴料は200円、柳川の水の郷は300円ということで100円高いということで、誰も乗らなかったということもあります。仮に巡回バスを100円で運行することになりますと今まで無料だったものが往復200円かかります。その辺りに問題がありますので、柳川と同じ形で運行するという状況には至ってないということです、その辺りをご理解いただければと思います。

○稲又委員

試行したときは、市民温水プールは無かったでしょう。温水プールができて柳川の人たちだけが利用価値があるわけでしょう。予算は柳川の方だけに使っているということじゃないですか。福祉バスのべにばな号は、大和地区には来れないということですね。プールなんかは大和地区の人は行きたくても行けないです。そういうことをどうお考えなのか。

○事務局（副市長）

温水プールのニーズで福祉バスの必要性を言われてありますが、大和町の方から温水プールを利用したいというニーズは、どれだけあるのか、6か月福祉バスを水の郷まで来るように試験的に運行したわけですが、乗客はいなかった。ただその際には温水プールは無かったと委員さんおっしゃっているわけですが、温水プールを大和地区の住民がどれだけ利用しているか、調べてみないと分からない。それからバスの運行については、至る所で要望があるんですけど、利用率の問題があるんですよ。時間

帯設定と利用率の問題がある。ニーズがどれだけあるのか、検討してみないと行けないと思います。大和町で温水プールのニーズはありますか。

○稲又委員

あると思うんですけどね。

○事務局（副市長）

あると思いますじゃなくて・・・

○稲又委員

私じゃ調べられない。一軒一軒聞けないが、私が回っている所では聞きますので、言っている。個人的な話ではない。お宅はいりますか、いりませんかなんて聞けないじゃないですか。

○事務局

企画課長が言ったように本当であれば、利用も料金も一緒がいい。大和の場合、無料ということで走っているものが100円かかるということになれば、利用者の方から問題が出てくる。その調整が一番難しいのではと思います。柳川の人からいうと私たちは200円かかっているのに大和は無料と逆に不満になる。その調整が難しい問題なので委員さんの意見を十分聞きながら、調整をやっていくことになる。意見を出してもらうことは結構ですが結論はこの場で出せないということです。

○稲又委員

三橋の方も文化協会に来たいけど来れないというのもあるんです。そういうのがあったらいいなというので、言っています。

○事務局

もう一つは、三橋の問題ですが、あちらは路線バスが走っていて、その路線には、この福祉バスは競合するため、走らせられない。旧柳川でも路線バスが走っていない所を走らせている。

○稲又委員

路線バスにも補助を出しているんでしょう。

○事務局

はい、そうです。

○稲又委員

西鉄バスと堀川バス、2,000万円も。こちらは出ていない。

○事務局

確かにそういう違いはありますが、柳川でも駅まで走らせてくれなどの要望がありますが、路線バスと競合する所は走れないということです。そういった問題もあります。仮に柳川のような形で運行するということであれば、今の福祉バスは廃止して有料のバスを走らせることとなりますが、その辺りがご理解いただけるかという所が一番難しい問題です。

この問題はこの場で結論を出せないと思います。色んな意見を聞きながらまとめていくことになると思います。

○蒲池委員

それはそれで良いんですが、行政の全てに共通するのは、みんな机上論で進むじゃ

ないですか。実際べにばな号は、知っている人より知らない人が多い。大和町の福祉バスは、何と何ですか。現状をきちんと調べて実行しないと。ああ言えばこう言う、ぱっぱ検討していかんとでけんですよ。会議をやってもメモをとられるだけで何も変わらない、計画を実行しただけ。さきほどありました水の郷は300円、ここは200円と言われましたが、ここの利用は何歳からですか。水の郷の利用は何歳からですか。調べてありますか。大和の福祉センターは60歳以上ですよ。水の郷は温泉ということで利用制限はない。そういうことを調べないと、全然目的が違うんですよ。今後、私たちの思っていることを申し上げるのが委員の役割だと思いますけど。全ての各種団体組織は全部柳川主導じゃないですか。特に住民の意見を取りまとめる区長さんたち、大和の時は毎月定期的に会議が行われていたが、今は年に1回しかないじゃないですか。行政区の活動費も1人当たりいくらやる、一番儲かるのは柳川じゃないですか。そういうことをぴしゃっとせんと今は全然不公平ですよ。私たちが言ったらぴしゃっと調べてあるな、足で稼いであるなというふうしにしていかないといかんと思います。これは、希望です。

○横山副会長

よろしいですか、もう次の5番に入ってるかと思うんですが、他に何かございますか。

○江崎委員

19年度の対応状況を20年度に回してもらったらどうでしょうか。

○事務局

ここに書いていますように、今後検討すべきものは検討していきますし、その都度審議会に状況を報告していきながら進めていきたいと考えております。

○蒲池委員

3ページの組織図、各地区に地域審議会がございます。柳川は柳川であり、大和は大和で行われる。柳川ではバスの問題は出ないと思いますが、その整合性はどういうふうにまとめていくのか。柳川の意見、三橋の意見、大和の意見をそれぞれ情報提供して、こういうふうだから事務局としてはこうする、といったことをされるのか。していただかないと分からない。

○事務局（副市長）

交通手段の確保については、どの地区も出ています。ただ費用の問題と利用率の問題があって、それからルートを新しく設定して欲しいとか、毎日運行して欲しいとか、回数の問題。ただ、いかんせん台数が限られている。あるいは利用率がなかなか伸びないということがあって、その辺は工夫しながら利用率の多い所に比較的回数が多い形で検討してやっていく問題です。先ほど出ました温水プールについても新たなニーズが出てくると言うことであれば、それはまた検討してみる必要があると思っていますので、持ち帰ってやってみたい。それからさっき出た6ヶ月間の試行のことを全然知らなかったということで周知の仕方に問題があるので点検させていただきたいと思っています。

○蒲池委員

マニフェストがあるでしょう。あのようにつしします。と決めないと進まない。

○稲又委員

毎日回さなくてもいい。1週間を割り振って何曜日に来ますよとすれば、市民はそれに合わせてされると思います。

○横山副会長

それではまだ検討の余地があるということで、他にございませんでしょうか。無ければ6番に入りたいと思います。その他何かありますでしょうか。

○蒲池委員

審議会とはだいたいこのような内容なのでしょうか。

○事務局（副市長）

まず感じたのは、出てくる問題は、区長会とあまり変わらないなということ、二つ目は道路・交通手段・水路は柳川の地域特性として要望が出てくる。ただ旧1市2町のやり方が多少違っていたことで、整理をするとこちらが儲けたとか損したとかという話が出てくる。

○蒲池委員

行政の担当者の方は全て分かってあると思いますが浄化槽やピアスなど、しかしこの情報化時代、地域住民にこうだからこうだよとかあれば良いが何もない。

○事務局（副市長）

疑義の所があれば、またお受けしますが、例えば3月議会の中継をインターネットですということもやりますし、旧大和町では市報を以前から2回やっていましたが、他の地区からは1回で良いんじゃないかという話が出ています。月2回はたいへんだという話があって、アンケートでは若干2回が多かったのですが、区長会のなかで話し合いを持ってもらったら、しばらく2回でやろうかとかご了解いただいたのですが、その辺は了解をいただきながら、サービスの質を落とさないで頑張っているのではと思っていますけれど、随時色々な意見が出てくる。減らせ、増やせなど様々出てまいります。その背景や困っている事情があるのかを検討して、それをやった結果公平感が損なわれるようであれば、すぐにはできないし、試験的にやってみようかということにもなる。慎重にやっていかないと新たな問題を引き起こしてもいけないということで、すぐに出来ないのはそういう部分だとかご理解いただきたいと思います。

○蒲池委員

次回から同様な協議を中心に持っていかれるのか。決まっているものばかりでは意味がないと思います。

○事務局

委員さんからの意見を出してもらって、それに対して市としてどういうふうを考えているかを答えたいと思います。

○蒲池委員

要望ですけど、当日に意見を出すと時間ばかりとるので、活字で事前に出すということで、今回はこの議題について協議するというふうにしなないと。

○事務局

本日は説明の部分が多かったため、ご論議いただく時間が少なかったですが、次回から先ほど申し上げた形でやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

す。

○横山副会長

当日配布するんじゃなくて、事前に配布されるのですか。

○事務局

次回から事前に配布するようにしたいと思います。

○蒲池委員

私たちは色んな会議に臨んだなかで、第1回審議会で協議した結果のまとめということで事務局から議事録が送られてきていましたが、それはされるんでしょうか。

○事務局

お送りします。

○蒲池委員

次回は何時を予定されていますか。

○事務局

まだはっきりと決めていませんが、次回は来年度に入ってからになると思います。

○横山副会長

協議の1から6まで終わりましたということで、本日は突然で戸惑いましたが、これで終わりたいと思います。ありがとうございました。

午前11時40分 閉会